

越生女性消防団員

越生女性消防団員が発足したのは、平成27年。現在7人の団員が活動を行っています。女性消防団員は災害時、後方支援などの活動もありますが、住宅用の火災警報器の普及促進、地域の防災教育やAEDの使用方の講習で、特に活躍されています。

女性消防団員Q&A

越生女性消防団員のお二人に話を伺いました。



杉浦 早苗 団員

Q..お二人の職業を教えてください。

杉浦さん..ホテルで働いています。
田中さん..看護師をしています。

Q..消防団に入ろうと思ったきっかけを教えてください。

杉浦さん..学校のPTAをやっている、町のボランティア活動に興味が出て、PTAがひと段落するタイミングで声をかけていただいたのが入団のきっかけです。

田中さん..父が消防士で消防団に興味がありました。男性も女性も力づくよく見えて入団を決意しました。

Q..女性消防団のやりがいを教えてください。

杉浦さん..私達は、公務員やサービスマン、子育て中の母、結婚や出産を迎えるさまざまな団員が揃っています。それぞれの持つ得意分野を活かせるよう取りまとめ、活動につなげる事です。それを地域に貢献していくことです。

田中さん..防災訓練を行い、地域の方から「ありがとう」と言われた時です。消防団の活動を通じて地域の方との交流の輪が広がると嬉しく思います。

Q..入団後に変わったことはありませんか？

杉浦さん..防災への意識です。職場で防災訓練に参加した際、毎回同じ想定で訓練が行われていました。消防団に加入した事で得た知識を活かして、訓練の変更を行い、災害時は臨機応変に対応できるようマニュアルを作りました。



田中 茜 団員

田中さん..防災無線の放送が流れると、今までは聞いていただけだったのが、自分が消防をやることで危機感が高まりました。

Q..今後の団としての目標を教えてください。

杉浦さん..職場にAEDはあるけれど、使い方のわからない方が多くいらつしやると思います。町内のAEDを設置している企業に伺って使い方の訓練を行いたいです。また、越生女性消防団で「応急手当普及員認定証」を持つている人は3名います。これは普通救命講習を行い、参加者に「普通救命講習修了証」を交付できる資格です。この取得者を増やすのが目標です。